

農業者・漁業者の所得向上についての取組は

国・県及び各機関と連携して農業・漁業振興に努めていく。



中村 哲康 議員

農業・漁業振興について



女性農業者との市政懇談会

議員 農業においては、もっと女性が活躍できる場や、話し合いができる場などが必要だと思うが。

農林水産部長 女性が活躍する場というのは大変必要なと思ってている。令和元年に、市長と女性農業者との懇談会を開催しておる。女性が気軽に集まるような場を設置してほしいという意見があり、令和2年に農業委員会と農林課が連携した場を開催している。ただ、

状況である。感染拡大が終息したら、また改めて、市内全体の女性の皆さんに集まつて、気軽に話ができるような場の提供等の取組について考えていきたいと思っている。

これが新型コロナ感染拡大により、休止している状況である。感染拡大が終息したら、また改めて、市内全体の女性の皆さんに集まつて、気軽に話ができるような場の提供等の取組について考えたいと思っている。

対して即日公表している。

議員 地元企業を優先し、地域経済を活性化させるためにも、指名入札発注基準額を見直すべきではないか。

市長 現在においても、公正性や競争性を確保し、かつ地元企業、地元業者がなるべくいい環境で仕事ができるよう、どのような方法が可能なのか、指名競争入札の基準額も含めて、引き続き全体的な入札制度の見直しについて検討していくたとを考えている。

議員 指名競争入札の基準額は、今どのくらいになつているのか。

副市長 現在、指名競争入札は1千万円を基準にしており、1千万円以上を一般競争入札でやつて



田中次廣 議員

公共施設の除却（取り壊し）について



市道小利白木野線

議員 公共施設等総合管理計画では、災害の場合、避難箇所として使用している施設が、除却（取り壊し）の対象になつている。施設を除却する時は地域の意見を聞いてから行うべきと思うが。

市長 地域でどのように使われているか、地域の皆さんに説明をし、理解をお願いしながら、除却するという方向でしている。くというのは基本である。



中村 哲康 議員

公共施設の取り壊しは、地域の意見を聞くべきでは

理解をお願いしながら進める。

市道小利白木野線について

議員 復旧工事の進捗状況は。

建設部長 9月議会でも質問をいたいた。その時点では県の農林部局と協議を行つてある段階で、いつから通れるようになるとの回答ができなかつたが、地滑りの変動が見られない状況が確認されたので、通行するための工事を行つてある。（その後12月7日から通行が再開された）

議員 3回目の接種予約が行われるが、1回目、2回目のワクチン接種では、電話での予約ができるなど非常に混乱を招いたが、今回どういった対策、方法を考えているのか。

コロナワクチン接種について

議員 現在使用していない旧学校など、施設の電気料金の見直しは行つたのか。

教育次長 廃校となつた旧学校施設で、利活用されていない、校舎、トイレなどについては、電気料金を止めている。学校施設の中で、体育館など社会

体育施設として活用している分で、校舎と一体の電気契約になっているものについては、そのままの電気契約をしている。

議員 電気を使用しないと代金は安くなるが、契約自体を見直さないと基本料は安くならないので、契約の見直しを行い節減に取り組むべきと思う。

いる分で、校舎と一体の電気契約になっている。

議員 電気を使用しない

